

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あさひ子ども園そら 放課後等デイサービス			公表日		2025年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		外と中の使い分けをしている。	パーテーションを使用したり、戸外と室内で活動を分けることもある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	定員は満たされていても職員の状況（新しい職員等）によっては不安な部分もある。児童の特性にもよる。時に不足している。	新しい職員への指導を行う。可能な限り、基準よりも多く職員配置を行っていく。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	療育室はフラットになっている。障害者用トイレやエレベーターの設置をしている。ホワイトボードに予定を示している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	日々の消毒、清掃、換気ができている。学習、おやつ、工作等の活動スペースを分けている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	6	パーテーションで空間を分けたり、職員と一緒に療育室外を散歩できる。	仕切りが無いため、パーテーションで区切るしかない。利用できる個室が無い。（療育室外に出る前に感情をクールダウンできる場所があれば良いと思う）		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		十分ではない所もあるので改善できるよう検討する。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			職員間で話し、検討・実施に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		研修の機会や日々の業務の振り返りの時間を設けて工夫していると思う。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2		検討していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		毎月、事業所内研修の他外部研修への参加をしている。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	公表する準備段階である。	作成・公表しているので、プログラムに沿った療育をしていく。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	個別支援会議を行った上で保護者のニーズを含めた計画を作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員会議の中で、できるだけ多くの職員と一緒に支援会議を行っている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		児童個別ファイルに管理し、共有できるようにしている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		対象児童に対し適切に設定を行っている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員でミーティングを重ね立案している。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		過去の資料を参考にし、内容が固定化しないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		会議を開催し、支援内容を検討している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		療育前に活動内容を細かく確認している。個別対応が必要な児童についても確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		毎日振り返りを実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎日記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的に行い見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3	1	地域交流の機会においてはこれから改善が必要である。	できている部分もあるが今後検討が必要である。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		普段の制作活動や手作りおやつ提供の際など自分で数や内容を選択できるよう工夫している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			機会があれば連携を行っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		送迎時等に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	聞いていない。 児童発達支援との情報共有は行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	聞いていない。	事例はないが必要があれば情報提供可能である。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		十分ではない所もあるので改善できるよう検討する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	地域の公園等、園外に出かける場合はある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		今後参加を検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳で内容を伝える他、送迎時に口頭で様子を伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		十分ではない所もあるので改善できるよう検討する。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		書面・口頭での説明を実施している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		モニタリングを定期的に行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		モニタリングで説明を行い、同意の上で署名してもらっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		可能な限り対応し、時間を設けて相談に応じている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			保護者交流会を実施している。兄弟間の交流は設定していないので今後検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		窓口、責任者の設置を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		活動予定を毎月配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		毎年全職員に書面にて周知している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		連絡帳やLINE、メールを活用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	検討し行っていきたい。 地域との関わりはないと思う。 専門学生との交流がある。	今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		年間計画に沿って研修を行い訓練を実施している。	保護者周知は今後行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		火災避難訓練は定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	保護者に聞き取りし対応している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	個別対応のおやつを提供している。 クッキングでは事前に保護者に相談している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全運転講習をしている。	今後研修を定期的に実施し支援を行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	2		今後周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		全職員が閲覧できるようファイルを管理している。 療育後の振り返りでも共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		職員研修を定期的に行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1	重要事項説明書に記載し、保護者へ説明を行っているが現時点では事例がない。	計画には記載されていない。今後記載について検討し改善する。	